

まちづくりの目標	2	みんなが安全で快適に暮らせるまち
政策	2	生命・財産を守り、安心して快適に暮らせるまちにします
施策	4	犯罪の少ないまちにします
		担当部(統括部) 生活環境部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
地域を挙げた取組みにより、犯罪発生件数が減少しています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	地域を挙げて防犯活動が行われている	地域の実情に合わせた防犯活動が行われている	地域の実情に合わせた防犯活動が行われている	地域で防犯活動に関わる人が増えている	地域の防犯力が高まっている	犯罪発生件数が減少している
実績	目標の通りの姿を実現できた					
夜間でも安心して歩けるまちになっています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	夜間の危険を減らす取組みが行われている	夜間の危険箇所が減っている	夜間の危険箇所が減っている	夜間の危険箇所が減っている	夜間の安全性が高まっている	夜間でも安心して歩けるまちになっている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
犯罪発生件数	目標	—	—	—	—	1,000件	900件	900件	900件	900件	900件
	実績	1,901件	1,873件	1,604件	1,098件	910件					
防犯灯の設置件数	目標	—	—	—	—	6,360件	6,410件	6,430件	6,450件	6,470件	6,570件
	実績	6,258件	6,310件	6,326件	6,358件	6,390件					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

○防犯意識の高揚											平成25年度事業費計 3,422千円
摂津警察署や防犯協会などの関係機関と連携し、様々な啓発活動により防犯意識の高揚を図ります。											
平成25年度事業	防犯推進事業3,422千円(自治振興課)										
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度					
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度					
計画	市民、地域、関係機関の協働を強化し、防犯大会や啓発活動を実施	市民、地域、関係機関の協働を強化し、防犯大会や啓発活動を実施	市民、地域、関係機関の協働を強化し、防犯大会や啓発活動を実施	地域住民による自主的な防犯活動の実施	地域住民による自主的な防犯活動の実施	防犯意識の浸透により、自己防衛力が向上					
取組実績	445人が参加した全国地域安全運動摂津市民大会及び街頭キャンペーン、ナンバープレート盗難防止ネジ取付キャンペーン等を合わせて、年20回の啓発活動を実施した。										
成果	地域住民である啓発キャンペーン参加者及び市民の防犯意識の高揚が見られた。										
次年度課題	—										

◎自主防犯組織の支援						平成25年度事業費計
						12,251千円
青色防犯パトロール車の配備や学習機会の提供などにより、地域における自主防犯組織の活動が充実するよう支援を行います。						
平成25年度事業	防犯推進事業3,422千円・地域活性化補助事業8,829千円(自治振興課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
計画	セーフティパトロール隊連絡会議による情報交換	セーフティパトロール隊連絡会議による情報交換	セーフティパトロール隊連絡会議による情報交換	セーフティパトロール隊連絡会議による情報交換	セーフティパトロール隊連絡会議による情報交換	セーフティパトロール隊連絡会議による情報交換
取組実績	5月及び10月に市内12のセーフティパトロール隊を対象に連絡会議を開催した。					
成果	各セーフティパトロール隊同士の意見交換を通じて連携強化を図ることができた。					
次年度課題	—					
計画	地域活性化補助金により防犯活動を支援	地域活性化補助金により防犯活動を支援	地域活性化補助金により防犯活動を支援	地域活性化補助金により防犯活動を支援	地域活性化補助金により防犯活動を支援	地域活性化補助金により防犯活動を支援
取組実績	地域活性化補助金を活用した7件の防犯活動が実施され、パトロール用ユニフォーム代や活動に対する保険代等の補助を行った。					
成果	各地域による自主的な防犯活動が実施され、地域内の防犯意識の向上が見られた。					
次年度課題	—					
計画	防犯協会に青色防犯パトロール車の無償貸与	防犯協会に青色防犯パトロール車の無償貸与	防犯協会に青色防犯パトロール車の無償貸与	防犯協会に青色防犯パトロール車の無償貸与	防犯協会に青色防犯パトロール車の無償貸与	防犯協会に青色防犯パトロール車の無償貸与
取組実績	年95回、延べ走行距離1,563kmの青色防犯パトロール車によるパトロールが実施された。					
成果	地域内をパトロールすることにより、犯罪の未然防止を図ることができた。					
次年度課題	パトロールが特定の地域に限られている現状を踏まえ、改善策を検討していく必要がある。					

◎犯罪を発生させない環境の整備	平成25年度事業費計
	133,730千円

防犯灯の設置により夜間の安全確保や死角場所への対策を強化します。

平成25年度事業	防犯灯事業130,010千円・★防犯カメラ設置事業3,720千円(自治振興課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	自治会等から要望のあった箇所やひったくりなど犯罪が発生しやすい箇所に防犯灯を設置	自治会等から要望のあった箇所やひったくりなど犯罪が発生しやすい箇所に防犯灯を設置	自治会等から要望のあった箇所やひったくりなど犯罪が発生しやすい箇所に防犯灯を設置	自治会等から要望のあった箇所やひったくりなど犯罪が発生しやすい箇所に防犯灯を設置	自治会等から要望のあった箇所やひったくりなど犯罪が発生しやすい箇所に防犯灯を設置	自治会等から要望のあった箇所やひったくりなど犯罪が発生しやすい箇所に防犯灯を設置
取組実績	各自治会からの申請に基づき、32灯の防犯灯新規設置及び40灯の照度アップ(20W→32W)を行った。また、46灯の20W蛍光灯を32W相当のLED灯に器具取替を行った。					
成果	夜間における死角場所が減少することにより、犯罪発生を抑止につながった。					
次年度課題	長寿命、低消費電力であり、またCO2排出量も削減され環境にやさしい防犯灯であるLED灯への移行に向け、財源調整や自治会との調整等をしていく必要がある。					
計画	自治会が行う防犯灯維持管理の費用を一部補助	自治会が行う防犯灯維持管理の費用を一部補助	市内全ての防犯灯をメンテナンスに優れたLED灯に移行することにより、防犯灯維持管理費補助を廃止し、市が管理を行う	市内全ての防犯灯をメンテナンスに優れたLED灯に移行することにより、防犯灯維持管理費補助を廃止し、市が管理を行う	市内全ての防犯灯をメンテナンスに優れたLED灯に移行することにより、防犯灯維持管理費補助を廃止し、市が管理を行う	市内全ての防犯灯をメンテナンスに優れたLED灯に移行することにより、防犯灯維持管理費補助を廃止し、市が管理を行う
取組実績	各自治会からの申請に基づき、32灯の防犯灯新規設置及び40灯の照度アップ(20W→32W)を行った。また、46灯の20W蛍光灯を32W相当のLED灯に器具取替を行った。					
成果	夜間における死角場所が減少することにより、犯罪発生を抑止につながった。					
次年度課題	長寿命、低消費電力であり、またCO2排出量も削減され環境にやさしい防犯灯であるLED灯への移行に向け、財源調整や自治会との調整等をしていく必要がある。					
計画	自治会が管理する防犯灯を順次LED化	自治会が管理する防犯灯を順次LED化	市内全ての防犯灯をLED灯に移行			
取組実績	各自治会からの申請に基づき、32灯の防犯灯新規設置及び40灯の照度アップ(20W→32W)を行った。また、46灯の20W蛍光灯を32W相当のLED灯に器具取替を行った。					
成果	夜間における死角場所が減少することにより、犯罪発生を抑止につながった。					
次年度課題	長寿命、低消費電力であり、またCO2排出量も削減され環境にやさしい防犯灯であるLED灯への移行に向け、財源調整や自治会との調整等をしていく必要がある。					
計画			駅前や犯罪が発生しやすい箇所に防犯カメラを設置	駅前や犯罪が発生しやすい箇所に防犯カメラを設置	駅前や犯罪が発生しやすい箇所に防犯カメラを設置	駅前や犯罪が発生しやすい箇所に防犯カメラを設置
取組実績						
成果						
次年度課題						

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

地域における自主防犯活動の推進						平成25年度事業費計 12,251千円
市内各地区において、関係機関との連携方法や場所・時間帯・回数などを地域の実情に合わせて工夫し、登下校時の通学路や、夜間の公園等のパトロールにより子どもの見守り活動を進めます。						
平成25年度事業	防犯推進事業3,422千円・地域活性化補助事業8,829千円(自治振興課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	市民、地域、関係機関との連携による防犯活動及び防犯意識の高揚	市民、地域、関係機関との連携による防犯活動及び防犯意識の高揚	市民、地域、関係機関との連携による防犯活動及び防犯意識の高揚	地域住民による自主的な防犯活動の実施	地域住民による自主的な防犯活動の実施	防犯意識の浸透により自己防衛力が向上
取組実績	445人が参加した全国地域安全運動摂津市民大会及び街頭キャンペーン、ナンバープレート盗難防止ネジ取付キャンペーン等を合わせて、年20回の啓発活動を実施した。					
成果	地域住民である啓発キャンペーン参加者及び市民の防犯意識の高揚が見られた。					
次年度課題	—					
計画	市民、地域、関係機関と地域の実情に合わせて工夫し、自主防犯組織の支援を実施	市民、地域、関係機関と地域の実情に合わせて工夫し、自主防犯組織の支援を実施	市民、地域、関係機関と地域の実情に合わせて工夫し、自主防犯組織の支援を実施	市民、地域、関係機関と地域の実情に合わせて工夫し、自主防犯組織の支援を実施	犯罪を発生させない環境整備の充実	犯罪を発生させない環境整備の充実
取組実績	市内の12セーフティパトロール隊を対象にした連絡会議の開催及び地域活性化補助金を活用した7件の防犯活動が実施され、パトロール用ユニフォーム代や活動に対する保険代等の補助を行った。					
成果	各地域による自主的な防犯活動が実施され、地域内の防犯意識の高揚を図ることができた。					
次年度課題	—					

犯罪被害者に対する支援						平成25年度事業費計 5,616千円
全国に先駆け、平成20年(2008年)7月1日から施行した「摂津市犯罪被害者等支援条例」に基づき、相談をはじめ、家賃補助や見舞金の支給等により支援を進めます。						
平成25年度事業	犯罪被害者等支援事業5,616千円(自治振興課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	犯罪被害者等に対する相談及び支援の実施	犯罪被害者等に対し、関係各課と連携を図り、全庁的に被害の軽減及び回復を促進	犯罪被害者等に対し、関係各課と連携を図り、全庁的に被害の軽減及び回復を促進	犯罪被害者等に対し、関係各課と連携を図り、全庁的に被害の軽減及び回復を促進	犯罪被害者等に対し、関係各課と連携を図り、全庁的に被害の軽減及び回復を促進	犯罪被害者等に対し、関係各課と連携を図り、全庁的に被害の軽減及び回復を促進
取組実績	年間で21件の相談を受けた。					
成果	見舞金等の支給につながるケースはなかったが、関係機関につなげる等により被害の軽減を図ることができた。					
次年度課題	賃貸住宅家賃等の補助内容の拡充を検討していく必要がある。					